

南陽コミュニティ通信 No. 2

コミュニティ担当職員 飯田一明 ☎ 4 2 6 - 3 7 1 4



今回のテーマ： 頭陀寺城（松下屋敷跡）を語る会 ①

松下屋敷は豊臣秀吉が少年時代に一時奉公したという伝承があり、発掘調査も行われましたが、地元以外の方にはあまり知られていませんでした。そこで、NHK大河ドラマ「女城主 直虎」の放映にあわせて、地域の歴史について学び賑わいづくりに貢献するために、平成28年に頭陀寺城（松下屋敷跡）を語る会が発足しました。

これを受けて、頭陀寺城（松下屋敷跡）を語る会とコミュニティ担当職員が協働して、南区地域力向上事業として、下記のとおり郷土史研究家等による歴史講座の開催や松下屋敷跡の啓発事業を実施しました。

開催年度	郷土史研究家等の歴史講座開催	啓発事業
H28年度	・秀吉等ゆかりの頭陀寺城 ・松下屋敷跡発掘調査の概要	・当時の様子や松下屋敷跡発掘調査の写真パネルのほか、のぼり旗の製作
H29年度	・松下氏と頭陀寺城	・各種啓発物の製作
H30年度	・地域の児童の学習講座	・紙芝居・DVDの製作

頭陀寺には秀吉・家康・直政の3公像のほか歴史資料室があり、わかりやすい解説資料や松下屋敷跡の模型が展示され、発掘調査の出土品や秀吉が少年時代に一時奉公していたときの伝承についても知ることができます。目刺し橋、鎌研ぎ池、片葉の葦などの伝承があり、この周辺には少年時代の秀吉が鎌を研いだ鎌研ぎ池の跡や頭陀寺城主の松下之網（加兵衛）の石碑もあります。

関心のある方は、是非一度ご覧ください。

松下屋敷跡の歴史講座（頭陀寺）



松下屋敷跡発掘調査の写真パネル等

